

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 4 年 6 月 28 日（火）18：30～19：50

場 所：南部公民館

出席者：18 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

（1）町長 2 期目の政策について（資料①、②参照）

（2）自由懇談

4. その他

・ 栗山町職員倫理条例の施行（資料③参照）

・ 税の免除（資料④参照）

5. 閉会

町民：継立団地の建て替えについて、現在地の建て替えですか？それともどこか新しいところに建て替えるのですか？

建設総括：継立団地は、道道より西側の平屋の古い住宅が 1 番古くなっている。その住宅を建替予定です。天馬軒さんの裏の道、あそこをずっと西の方に行くと今団地の道路とぶつかる。その角に町有地があり、そこに今建てる予定をしております。教員住宅がもともと建っていましたが、そこはもう使用しませんので。解体をし、そこに新しく建てる予定です。

町民：旧継立中の活用について進捗はどのようになっていますか？

副町長：旧継立中学校施設の活用については、昨年地域の方々にも説明をさせていただきました。その際、今年の夏ぐらいから正式オープンということでご説明していましたが、コロナの感染状況等もあり、若干スケジュールが遅れています。建物については無償で町が貸付をするということになっていますので、町の所有物として屋根などの改修工事を行います。順調にスケジュールが進めばですが、できれば年内中にプレオープンをという形で進め、正式には来年 4 月から本格オープンということで今進めてるところです。

町民：ごみ処理場の関係で、最終処理場は 2 市 4 町で一か所を使っていくということでしょうか？

環境政策課長：最終処分場は、廃棄物処理組合の 2 市 4 町で使っていく予定です。どういったところに作るかという候補地は、これから検討していく予定です。

町民：ケアラーについて、いつも思うのですが、生活支援ボランティアの仕組み構築というわけではなく、直接担当者が行って、そういった人に何が必要なんだってことを言って、そういうことに予算

をつけていけばといいのでは？

福祉総括：ケアラー支援の関係で生活支援ボランティアの構築、世間一般的に言い換えればシルバー人材センター・お年寄りの活躍の場などという感じでほかの町も行っているところです。そこで、町ではシルバー人材センター的な、お年寄りがボランティアできるような仕組みができないかというのを、町と社会福祉協議会で検討している。今年度一つの町内会（松風地区）をモデル地区として、現在、有償・無償ボランティアの制度をできないかということで考えている。どういう支援が必要か言うという部分については、町では介護支援専門員という専門員が3人おり、地区分けをして各世帯にお邪魔して、近況や困っていることを聞いている。町の人数にも限りはあるが、直接ご家庭に行って必要な支援に回っている。全家庭を回るのは難しいですが、今後ボランティアさん・町民の皆さんにも協力いただきながら進めていきたいと思っている。

町民：ボランティアっていうけど、何年かかるかわからない。毎年こういう話聞くけど、実際に被害者・困っている人は、一日でも早く助けてほしいはず。その辺のこともう少し早く、そして実際にこういうことやっていますというのを話してほしいと思います。ボランティアといっても簡単には集まらないと思うので。

福祉総括：ご意見ということで、活かせるように町の方で検討していきたいと思います。

町民：教育長に考え方をお聞きたい。現在、子どもたちの行事はコロナのせいで、活動の制限もある。例えば、盆踊りや祭りにしても、感染症対策をやっていれば、大いにやりなさいという考え方なのか。その辺のことを聞かせていただきたい。

教育長：北海道教育委員会からも状況のケースによるが、コロナと上手に付き合いながらできる限りの行事を進めていこうという体制に変わっています。町の育成会の活動などでも感染対策を十分に行いながら、進行しているところです。

町民：私たちも盆踊りも始まる。子どものためにもどうしてもやりたいと思っている。教育長が学校側に感染対策をやったうえでこういうふうに言うというというのは。

教育長：町としての育成会ある。そこの役員会等でも議論を重ねたなかで前向きに検討しているはずなので、教育委員会としては育成会行事をあくまでバックアップする立場なので、我々は地域の意見を尊重し、支援していくというものです。委員会としては前向きに考えているところです。

町民：日赤病院の敷地内の薬局があるが、そこで信号機を押して横断している人がほとんどいない。そこで、交通安全の立場からも同じ構内に薬局を作れないか。これまでも何度もこの質問をしているが、薬局さんの都合なので作らないという考えでよろしいのか。

栗山赤十字病院改築準備室長：私から日赤へお話しをしているが、門前薬局さんから移設をしたいという声は現時点ではないときいている。経営的なものもあるので、薬局さんから声かけが来ない限り、日赤の方で強く声をかけるというのは難しいと聞いている。お声があれば改築にあたってスペースを作ることはできなくはないが、門前薬局さんからの声は来ていないが現状です。

町民：今後診察に行くのは高齢者が多くなるはず。今後、改築に伴って距離も大きくなると思う。こちらの要望として動いてみるというのもどうでしょうか？

栗山赤十字病院改築準備室長：町内の病院さんや薬局さんも入っている地域医療協議会というものがある。そういった場で話題提供をすることはできるので、町からもさせていただきます。また、日赤病院が今後、より南側になるので距離も遠くなるという話もあるので、合わせて一度お話ししていきたいと思う。